

# 4月28日は缶ジュース発売記念日

1954年4月28日に、日本の菓子メーカーが日本初の缶入りジュースを発売しました。

昭和40年代までジュースは「ビン詰め」が主流でしたが、飲料の自動販売機が普及し流通量が増え、ビンより軽い缶が使われるようになったそうです。また、ビタミンなどの成分は紫外線により減少したり性質が変わるため、商品によっては紫外線を通しにくい缶の方が適しているものもあります。発売当初の缶は現在のようなプルタブタイプではなく、缶詰のように空気穴と飲み口を自分で開けて飲むものだったそうです。

「果汁100%」と表示してある食品には、果汁を搾ってそのまま製品にした「ストレート果汁」と、一度濃縮した果汁を薄めて、計算上100%にした「濃縮還元」の2種類があります。濃縮還元果汁のほとんどは、輸入した濃縮果汁を水で薄めて作られます。濃縮する際に香りや風味が消えるため、香料や砂糖を添加しているものがあります。さらに、濃縮する際に熱を加えるため一部の栄養素が失われます。野菜や果物の栄養素をとりたいたときは、「ストレート果汁」を選びましょう。

